

釧路森林資源活用円卓会議（第3回 全体会）について

1. 開催日時 平成23年9月16日（金） 午後1時～3時半
2. 開催場所 工業技術センター 2F会議室
3. 参加人数 委員17名、オブザーバ7名、事務局8名
4. 会議の概要
 - ・ 全体会の第3回目（平成23年度の2回目）。
 - ・ 鈴木不二男座長（釧路地方林業会会長）の進行のもとで、議論を行った。
 - ・ 釧路市の方から、今年度取り組む予定の事業について説明が行われた。
 - ・ 途中、川上と川下の2グループに分かれて討議を行った。川上では「釧路地域での林地未利用材の集荷」について、川下では「木造建築にかかる人材育成研修」についての討議がなされた。
 - ・ 討議後、（地独）北海道立総合研究機構林業試験場大野主査より戦略研究の説明を受けた。
5. 会議での意見
 - 川上での意見
 - ・ 林地未利用材を集める場合、全木集材であれば可能性はあるかもしれない。カラマツ8齢級林分での間伐という条件を想定すると、用材の素材率は75%～80%を占めるであろう（未利用材を使うためには、8齢級あたりで皆伐・再造林を進めるべきではという意見もあり）。
 - ・ 現場でチップ化するより最寄りの工場で破砕した方が良いが、標準的な原木価格より高くなることが予測される。残材の数量等を把握し、市民まで周知していくことは必要なことではないか。
 - 川下での意見
 - ・ 研修・講習を受講する立場としては、メリットが欲しい（資格・認定といった制度で、公共工事の発注条件にもつながっていると、より受講へのインセンティブが働く）。
 - ・ 建築の最終選択権を持った人が対象なら、設計士、工務店、ハウスメーカー向けの研修が良い。
 - ・ 消費者、小中学校を対象としたものづくり講座なども大事であり、一般にもとつきやすい勉強会にしてはどうかとの意見も。
 - ・ 研修会以外に、今ある木材利用の助成制度を知ってもらって普及啓発活動も大事。
 - ・ 市民へのアンケートなどを行い、どんな知識が必要か地域の意見をキャッチしてはどうか。



<円卓会議の様子>